

## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場会社名	セグエグループ株式会社	上場取引所	東
コード番号	3968	URL	<a href="https://segue-g.jp/">https://segue-g.jp/</a>
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)愛須 康之	
問合せ先責任者	(役職名)取締役経営管理部長	(氏名)福田 泰福	(TEL) 03-6228-3822
四半期報告書提出予定日	2020年5月14日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,491	△7.1	166	△22.7	174	△17.4	113	△18.9
2019年12月期第1四半期	2,682	△3.2	215	△25.4	211	△29.1	139	△33.8

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 66百万円 (△64.8%) 2019年12月期第1四半期 190百万円 ( 9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	9.88	9.67
2019年12月期第1四半期	12.19	11.93

(注) 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	6,199	2,651	42.2
2019年12月期	6,146	2,786	45.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 2,620百万円 2019年12月期 2,768百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,012	14.2	581	6.0	594	7.2	436	6.1	38.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期1Q	11,489,035株	2019年12月期	11,487,200株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	127,536株	2019年12月期	236株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期1Q	11,466,586株	2019年12月期1Q	11,459,656株

(注) 1. 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

2. 期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」制度の信託財産として株式給付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米中の通商問題、英国のEU離脱等に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、先行き不透明な状況が強まっております。

当社グループの属するIT業界におきましては、引き続きデジタルトランスフォーメーション、5G等への注目度は高くなっております。また、テレワークの普及が加速し、そのセキュリティの重要性も高まっております。しかしながら、経済の減速に伴い、既存システムの維持や重要なセキュリティ対策等に対する投資は継続されるものの、新規の投資が抑制されることが懸念されます。

このような環境の中、当社グループは、組織改編を行い中核子会社ジェイズ・コミュニケーション株式会社をビジネスユニット制にし、内部連携の強化と経営の迅速化等を図る等、2020年2月に発表した中期数値目標を達成すべく事業基盤の強化に向けた施策の展開を進めております。その結果、保守及びヘルプデスク等のサポートサービスを含むサービスの販売は堅調に推移しておりますが、前期と比べITインフラを主体とした大型システム案件が減少し、プロダクトの販売は減少いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間におけるソリューションプロダクト事業の売上高は1,356,134千円と前年同四半期と比べ279,727千円(17.1%)の減収、ソリューションサービス事業の売上高は1,135,821千円と前年同四半期と比べ88,826千円(8.5%)の増収、連結売上高は2,491,955千円と前年同四半期と比べ190,901千円(7.1%)の減収となりました。

利益につきましては、売上総利益率の改善により売上総利益が前年同期を上回り、第1四半期連結累計期間における過去最高額を達成したものの、中長期の成長に向けた人財や社内環境・システム等への積極的な投資による人件費、一般管理費の増加が上回り、営業利益は166,574千円と前年同四半期と比べ48,847千円(22.7%)の減益、経常利益は174,629千円となり前年同四半期と比べ36,884千円(17.4%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は113,384千円と前年同四半期と比べ26,382千円(18.9%)の減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は6,199,853千円となり、前連結会計年度末に比べて53,545千円の増加となりました。流動資産は4,789,554千円となり、前連結会計年度末に比べて254,716千円の減少となりました。固定資産は1,410,299千円となり、前連結会計年度末に比べて308,261千円の増加となりました。

流動資産減少の主な要因は、受取手形及び売掛金、及び未収入金が増加した一方、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、投資有価証券の増加等によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は3,548,814千円となり、前連結会計年度末に比べて189,025千円の増加となりました。流動負債は3,290,233千円となり、前連結会計年度末に比べて183,314千円の増加となりました。固定負債は258,580千円となり、前連結会計年度末に比べて5,710千円の増加となりました。

流動負債増加の主な要因は、買掛金が増加したこと等によるものであります。固定負債増加の主な要因は、退職給付に係る負債の増加等によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は2,651,038千円となり、前連結会計年度末に比べて135,480千円の減少となりました。主な要因は、自己株式増加に伴う株主資本の減少、及びその他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響を合理的に見積もることは困難であり、通期の連結業績予想につきましては、2020年2月13日公表の業績予想を据え置いております。

今後、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,180,682	1,655,543
受取手形及び売掛金	1,205,503	1,327,443
電子記録債権	30,019	44,034
たな卸資産	640,109	596,534
前渡金	583,552	571,686
未収入金	303,458	491,131
その他	101,808	104,042
貸倒引当金	△863	△861
流動資産合計	5,044,270	4,789,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,057	66,557
減価償却累計額	△31,519	△32,293
建物及び構築物(純額)	27,537	34,264
車両運搬具	3,076	3,076
減価償却累計額	△2,390	△2,474
車両運搬具(純額)	685	601
工具、器具及び備品	873,837	898,717
減価償却累計額	△719,871	△736,191
工具、器具及び備品(純額)	153,965	162,525
土地	639	639
建設仮勘定	7,500	—
有形固定資産合計	190,328	198,031
無形固定資産		
のれん	116,783	110,415
ソフトウェア	171,848	170,524
ソフトウェア仮勘定	12,056	6,300
その他	1,209	1,209
無形固定資産合計	301,897	288,449
投資その他の資産		
投資有価証券	335,759	574,747
長期差入保証金	94,472	134,236
繰延税金資産	83,964	112,322
保険積立金	78,157	76,368
破産更生債権等	2,241	2,241
その他	17,290	25,976
貸倒引当金	△2,075	△2,075
投資その他の資産合計	609,810	923,818
固定資産合計	1,102,037	1,410,299
資産合計	6,146,308	6,199,853

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	508,448	733,662
1年内返済予定の長期借入金	8,028	8,028
未払金	104,963	91,857
未払費用	161,415	131,311
未払法人税等	113,435	82,539
未払消費税等	79,055	80,562
賞与引当金	1,850	66,496
前受金	2,079,163	2,066,875
その他	50,559	28,901
流動負債合計	3,106,919	3,290,233
固定負債		
長期借入金	9,858	7,851
退職給付に係る負債	176,413	184,131
長期末払金	66,598	66,598
固定負債合計	252,869	258,580
負債合計	3,359,789	3,548,814
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	507,243	507,398
資本剰余金	279,743	279,898
利益剰余金	1,874,669	1,873,184
自己株式	△213	△100,172
株主資本合計	2,661,442	2,560,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,685	60,179
繰延ヘッジ損益	△71	△17
その他の包括利益累計額合計	106,613	60,161
新株予約権	18,463	30,567
純資産合計	2,786,518	2,651,038
負債純資産合計	6,146,308	6,199,853

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	2,682,857	2,491,955
売上原価	1,975,452	1,778,064
売上総利益	707,405	713,891
販売費及び一般管理費	491,983	547,317
営業利益	215,421	166,574
営業外収益		
受取利息及び配当金	39	23
為替差益	—	2,780
保険解約返戻金	1,010	2,942
補助金収入	—	822
その他	424	1,735
営業外収益合計	1,474	8,304
営業外費用		
支払利息	22	36
支払保証料	—	60
為替差損	5,197	—
株式交付費	—	150
その他	161	1
営業外費用合計	5,381	248
経常利益	211,514	174,629
税金等調整前四半期純利益	211,514	174,629
法人税、住民税及び事業税	85,546	75,033
法人税等調整額	△13,798	△13,788
法人税等合計	71,747	61,245
四半期純利益	139,766	113,384
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,766	113,384

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	139,766	113,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,731	△46,506
繰延ヘッジ損益	547	54
その他の包括利益合計	50,279	△46,451
四半期包括利益	190,046	66,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,046	66,932
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ITソリューション事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

1. 株式給付信託 (J-ESOP)

当社は、2020年2月18日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と当社及び子会社の役職員（以下、「幹部社員等」といいます。）の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への意欲や士気を高めるため、幹部社員等に対して当社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託 (J-ESOP)」（以下、「本制度」といいます。）を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社及び子会社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした幹部社員等に対し当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭（以下「当社株式等」といいます。）を給付する仕組みです。

当社は、幹部社員等に対し個人の貢献度等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。幹部社員等に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第1四半期連結会計期間99,958千円、127,300株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。